

交通運輸



和寒・士別間に鉄道が開通するのは、明治 33（1900）年です。続いて士別名寄間が開通するのは、明治 36（1903）年です。多くの開拓者や貨物がこの鉄道により、近隣の原野に入地していきました。また士別からは、木材や農産物といった貨物や多くの旅客を旭川・札幌方面へ運んでい



士別軌道は、大正 9（1920）年から馬車鉄道で上士別からの木材、農産物を士別駅まで運ぶ営業を始めました。その後、昭和 3（1928）年には動力が蒸気機関に替わり繁盛しましたが、昭和 34（1959）年に朝日町の森林鉄道の撤去にともなって同時に撤去しました。その後、バストラック部門が順調な営業を続けて



いましたが、昭和 40（1965）年以降に始まった過疎化と自家用車の普及により、バス路線の縮小や士別市の委託を受けた運行となっていく中、今でも市民の生活の足を支えています。